

第2回 復興知事業 5大学協働シンポジウム

福島復興に必要な国際教育研究拠点とは何か？ 地域再生と社会イノベーションを考える

福島復興における地域再生と社会イノベーションをテーマに議論をします。

福島原発事故の教訓を未来世代へ発展的に継承しうる国際教育研究拠点とは何か。
福島復興における社会イノベーション創造につながる研究教育と人材育成とは何か。今回は、特に復興知を活かした地域対話や協働の「場」の形成の意義につて議論します。
福島復興などの災害復興関係の皆さま、福島第一原発（1F）廃炉事業の関係の皆さま、地域社会や復興知事業の関係の皆さまのご参加をよろしくお願ひします。

日時： 2020年10月31日（土）13:00～17:00

開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_7rkr3KQQTs6WUxLtavC-9Q

リンク先より参加登録をお願いいたします。登録の後に参加方法をご案内します。



プログラム：

MC：早稲田大学 永井祐二・研究院准教授

開会挨拶：5大学

主旨説明：第1回5大学協働シンポ（2020年8月9日）の議論の振り返り

取り組み報告：「福島ならではの教育・対話や協働の場の構築」

東日本国際大学 中村隆行・教授「『福島浜通り版トライデック』構築に向けたタスクフォースの設置」

早稲田大学 崎田裕子・招聘研究員「1F廃炉の地域対話の試みと1F廃炉プロセスの地域資源化」

【休憩】

パネルディスカッション：

「福島復興に必要な国際教育研究拠点とは何か？～復興知を地域に根づかせ、展開していくには～」

モデレーター：東京大学 徳永朋祥・教授

政府・自治体関係からの参加 復興庁 江口哲郎・参事官

福島県企画調整部 橘 清司・部長

双葉地方町村会 伊沢史朗・会長（双葉町長）

地域からの参加

NPO 法人富岡町3・11を語る会 青木淑子・代表

学術からの参加

東京大学 森口祐一・教授（国立環境研究所理事）

福島工業高等専門学校 芥川一則・教授

早稲田大学 松岡俊二・教授

若者トーク：「未来に繋がる国際教育研究拠点とは何か？」

5大学の学生、福島浜通りの高等学校の学生・卒業生

閉会挨拶

主催：福島復興知“地域再生と社会イノベーション”分野5大学協働事業

福島工業高等専門学校、東日本国際大学福島復興創世研究所、近畿大学社会連携推進センター

東京大学大学院新領域創成科学研究科（予）、早稲田大学環境総合研究センター